

# 生活 パイロット

スマートフォンやタブレット端末は、インターネットに接続してサイトを閲覧するだけでなくゲームや買い物もできて、とても便利

800円のゲームが欲しいと言われ、タブレットにクレジットカードの番号を登録して遊ばせた。明細書が届いてから、知らない間に息子が何度もゲームの有料アイテムを購入し、カード決済していたことが分かった。

【アドバイス】  
事例のような場合は「未成年者契約の取り消し」(民法)を求めてゲームの運営業者、通信業者、信販会社と話し合うことになりま

す。しかし解決が難しいことも多いよつで、未然に防止することが重要です。  
子どものクレジットカードの番号を知らない場合でも、一度カード情報を登録すると、スマートフォンやタブレットに情報が保存されているのが一般的です。パスワード設定などを利用して管理に細心の注意を払いましょう。

## オンラインゲーム低年齢化

です。大人だけでなく子どもも手軽に利用しています。オンラインゲームで遊ぶ子どもも低年齢化の傾向もみられます。親の知らない間に料金が発生したという相談がアイネスにも寄せられています。注意しましょう。

▼スマホにダウンロードしていたゲームアプリを5歳の娘が見つけて遊び、よく分からないままボタンを押して料金が発生したようだ。携帯電話会社に「未成年者の娘が誤って利用しただけなので取り消してもらいたい」と相談したらアプリ提供会社に問い合わせるよ

うに言われた。  
子どもがゲームを利用する場合は①無料か有料が確認する②ゲー

## 料金トラブルに注意

ムの内容や何をするとお金が掛かるのか仕組みを確認するーなど親子で理解し、使い方について話し合うことが大切です。  
子どもがクレジットカードの番号を知らない場合でも、一度カード情報を登録すると、スマートフォンやタブレットに情報が保存されているのが一般的です。パスワード設定などを利用して管理に細心の注意を払いましょう。

トラブルに遭った場合は、親子で最寄りの市町村の消費生活相談窓口やアイネスに相談してください。  
(県消費生活・男女共同参画プラザ)アイネス、097・534・0999消費生活相談電話)



▼小学生の息子から